

# 教育行政執行方針

## 学校教育

社会の持続的な発展を牽引<sup>けんいん</sup>するための、確かな学力と多様な力を育みます

### I C T環境の充実

高度情報社会を生きるすべての子どもたちの可能性を引き出す学びの実現に向けて、学校における I C T 環境の充実がますます求められているため、G I G A スクール構想により整備された1人1台端末により、学習者用デジタル教科書や授業支援システムなどのソフトウェアを効果的に活用し、情報活用能力の育成を図るとともに、空知教育センターが主催する研修の活用を促し、I C T 環境下での教職員の実践力を養成します。

### いじめを絶対に許さない学校づくり

各校のいじめ対策組織の体制を十分に機能させ、昨今増加が懸念される S N S によるインターネット上のいじめ、新型コロナウイルス感染症に関連したいじめや差別、偏見などにも対応すべく、いじめ防止専門委員会やいじめ問題対策連絡協議会の専門的な知見も取り入れ、未然防止と早期発見・早期対応に努めます。

### 魅力ある学校づくりの推進(滝川西高等学校)

新学習指導要領で重要とされた情報教育や防災・安全教育の充実のほか、国際社会や地域社会に貢献する意欲や態度を養う教育活動の工夫が図れるよう、創立50周年の節目に合わせ、体育館の大規模改修や、いわゆる「B Y O D」に向けた I C T 教育環境の整備に努めます。  
※ B Y O D…個人所有のタブレット端末等を学校に持ち込んで使用すること。

## 社会教育

市民が生涯学ぶことができ、交流と活動が生まれる社会教育環境を整えます

### 滝川市民交流プラザ

滝川市文化センターを本年3月をもって全館閉館とし、新たなホール機能を持った施設に向け市長部局と検討を進めるとともに、代替施設としてホテルスエヒロの一部を借り上げ、「滝川市民交流プラザ」をオープンします。併せて、大ホールの代替として空知管内のホール施設を利用する場合には、施設使用料の一部を助成し、市民の文化活動を支援します。

### 美術自然史館・企画展

郷土館に収蔵されている人造石油の関係資料が、昨年9月に国立科学博物館より重要化学技術史資料に登録されたことを受け、特別展「石油ヲ造レ ― 東洋一の人造石油滝川工場 ―」を開催します。

### 図書館事業

ルーツ探しや調べ学習等で活用できるよう、市内各所においてまちの移り変わりを記録する定点撮影を継続し、市民と協働しながら地域情報と結び付けていく、新たな地域資料を作成します。

また、調べ学習を支援する「調べる窓口」を充実させ、「滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」につなげるとともに、第2次滝川市子どもの読書活動推進計画に基づき、読書習慣の定着や自ら学び考える力を育む施策を推進します。



滝川市長  
前田 康吉

新型コロナウイルス感染症は、新種株の発生やその感染力の高さなどもあり、未だにウイルスの脅威にさらされている状況にあります。市民の皆様は健康と生活を守るべく、引き続き3回目のワクチン接種を進め、感染拡大防止を図るとともに、併せて社会経済活動もしっかりと進めていく所存です。

この対策としては、地方創生臨時交付金を活用し、これまでさまざまな対策を行ってきましたが、新年度においても、市民生活を守り、地域経済の活性化を図るため、住宅の新築などに係る費用の一部を助成する事業を昨年に引き続き実施します。さらに、主食用米の価格が下落したことで影響を受けた水稲農家に対する生産費の一部助成やウイズコロナ・アフターコロナを見据え、グライダーを主軸としたワーケーション推進事業などに取り組みたいと考えています。

また、多くの公共施設が老朽化していることも鑑み、将来の公共施設全体の方向性を示す「滝川市公共施設個別施設計画」を策定する中で、市民の皆様の声もお聞きしながら、新ホール建設に向けて準備を進めてまいります。

現在、本市の20年後を見据えた「滝川市総合計画」の策定作業を進めており、将来に向けたまちづくりの指針を市民の皆様と共有し、人口減少下においても、住みたい、将来にわたって住み続けたいと思う、都市機能と田園風景が調和した「ちようどいい田舎」滝川市のまちづくりを進めてまいります。



滝川市教育委員会  
田中 嘉樹

人工知能などの最先端のデジタル技術が社会を大きく発展させようとしている一方で、足元では不登校やヤングケアラーなどの子どもたちを取り巻く社会的な課題は多様化・複雑化しています。さらに、新型コロナウイルス感染症は教育にも大きな影響を与えており、「学校の新しい生活様式」の中で、児童生徒の学びを保障していくことが求められています。こうした中、学校教育においては、国のG I G A スクール構想を踏まえ、基盤的ツールであるI C T を効果的に活用しながら、子どもたちを誰一人取り残すことなく育てる「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めることで、持続可能な社会の創り手として求められる資質・能力を着実に育成することが重要です。また、地域においては、市民一人ひとりが自らの個性や能力を生かしながら社会活動に参画するとともに、生涯にわたって生き生きと学び続けることができる環境を整えていくことが求められています。

教育委員会としては、教育大綱及び教育推進計画で定めた「未来を拓く『たきかわっ子』の育成」と「誰もが学び、誰でも参加できる環境づくり」という二つの基本理念に基づき、学校関係者や市民の皆様と連携・協働しながら豊かな教育の実現を目指して、教育行政を推進してまいります。

市政執行方針・教育行政執行方針の全文については、市立図書館(市役所2階)行政資料コーナーや江部乙支所で閲覧できるほか、市公式ホームページからご覧になれます。

### 市政執行方針

市公式ホームページ→組織案内  
→企画課→「市政執行方針・予算大綱」



【問合先】企画課  
Tel.28-8004

### 教育行政執行方針

市公式ホームページ→滝川市教育委員会  
→「教育行政執行方針」



【問合先】教育委員会  
Tel.28-8042